

ベトナム投資環境視察ミッション報告

—中部ベトナムを中心に—

2007年8月26日～9月1日

1. ミッションの目的

- * 中部ベトナムの投資環境（特に、ダナン市、ズンクアット経済区、チュウライ経済解放区）・インフラの整備状況を視察
- * 進出企業訪問・意見交換
- * ダナンで開催の「東西回廊週間」への参加

2. 結論

- * 中部へのインフラ投資の勢いは予想以上であった。特にズンクアットでは石油製油所（8割方完成）や造船所が建設中で、韓国や台湾系の製鉄所や重機工場も計画中。5年ほど前にミッションで訪問した時は計画だけで実感が持てなかったが、今回の訪問では完成間近のプラント・造船所を見て、ズンクアットは走り出したという印象。今後は、エタノール、プロピレンなどを利用するペトロケミカル産業・重工業の注目必至か。
- * 中部で操業の日系企業は（ダナンを中心に日系企業は34社）、低賃金・高品質労働を得られる反面、物流が常に課題。東西回廊だけでなく、陸海空の国内（南北物流）・外（日・米・中・星へ）リンケージの充実が期待される。
- * 東西回廊週間にはインドシナ諸国政府高官が出席。ベトナム政府は中部振興と東西回廊を連携させている。
- * フェなど多くの世界遺産とダナンから南北に延びる美しい海岸線（砂は白く、遠浅）を擁する中部ベトナムは観光資源たっぷり。数年後にはアジア一級のリゾート地になるのでは。

3. 政府機関からのブリーフィング[※]、訪問企業・工業団地の状況

（計画投資省外国投資庁中部事務所（I P P C）フィ局長）

- * 中部ベトナムの人口は約1200万人。東西、南北の交通の要。
- * 直接投資（FDI）は中部に累計44億ドル、357件。韓国・台湾・香港からの投資が増大。観光関連投資も伸びている。
- * ベトナムの全国GDP成長率は8%だが、中部の成長率は12%。外国投資に占める日本の割合はベトナム全体では12%だが、中部では4%（8600万ドル）に過ぎない。今後期待したい。

（ダナン市人民委員会ミン委員長）

- * ダナン市は製造業の拠点としてだけでなく、中部地方の商業・物流・金融・観光のハブとして発展していく。ITの発信地としても活躍を期待している。
- * 多くの外国企業がダナン市周辺の観光開発に投資している（実際、ダナン市からホイアンまでの優良な海岸沿いは外資高級ホテルやファンドが購入済）。

（日系物流企業ダナン事務所）

- * 北部から南部へはバイク、南部から北部へは家電製品の輸送が主。
- * ダナン港は5バース、1クレーン。バンコクーハイフォンーハノイ間は40フィートで約2000ドル、2週間。2007年10月から東西回廊のサービスを開始。

（ダナン市）

日系製造業（釣具製造・輸出）

- * 2006年9月から操業。独資100%。釣具（釣竿、リールなど）製造、主にローレンジの製品（販売価格10米ドル程度）を北米へ輸出。
- * ベトナム人460人、日本人5人、台湾人7人（技術指導）。総額40億円くらいの投資。現地の日本語学校で幹部候補生20人に日本語教育。工場建設は日系建設会社に依頼、6ヶ月で完成。現在もう1棟工場を増築中。
- * 日本、タイ、中国に工場があり各々、高級品、中級品、量産品の製造を行っているが、中国工場は委託型のため品質にむらがあるためベトナムの自社工場で品質管理と低価格化を追求中。ベトナムへは優秀で低廉な労働力を求めて進出。
- * ダナンのホアカイン工業団地への進出理由は、工業敷地取得費用が安かったことと法人税優遇などが良かったため。課題は、①物流インフラの未発達（ダナンからの直行船便が無くシンガポールや香港経由になる）、②現地で原材料、工具や備品が入手困難、③良質な中間管理職の確保が困難、などがあげられる。

日系の中小企業向け貸工場

- * 中国・広東のテクノパークをモデルにダナンのホアカイン工業団地内に日本の中小零細製造業への貸し工場及び事務手続き（各種申請、リクルート、輸出入管理、食堂など）などの共用を行う貸工場を栃木県の企業が経営。現在、もう一棟計画中。

（クアンガイ省）

ズンクアット経済区

- * 石油精製所：ベトナム初の石油精製所、ベトナム国営石油公社ペトロベトナムが施工主。首相案件としてベトナム最大のプロジェクト。総投資額は約25億ドル。1万ha。2005年に投資認可、2009年2月に操業開始予定。
- * 現在、プラントの71%が完成。フランス、日本（日揮）、スペイン、マレーシアの共同コンソーシアムが建設。基本的にブンタオ沖油田から原油を入手（一部ドバイから

も)。年間 650 万トン精製予定で、ベトナム国内のガソリン需要の 30% を供給予定。

- * 過去 10 年間、日本に延べ数千人のベトナム人技術者を派遣し研修。工事のピーク時には世界中から 1 万 2000 人くらいのエンジニア、ワーカーが従事する予定。毎月 100 人近くの溶接工を研修中。完成後は約 1000 人が管理運営に従事。

造船所：VINASHIN（ベトナム国営造船会社）系のズンクアット造船所

- * 中国 YMC 社から融資を受けている造船所。ズンクアット進出の理由は、中部の中核造船所に良港を擁し場所が適切、税制の優遇策があったから。中国系建設会社が建設中。造船技術はポーランドから。鉄鋼など材料は主に韓国から。
- * 2008 年に第一ドックに水入れ、2009 年 3 月に第一フェーズが完成予定。10-30 万トンタンカー用のドック。現在 10 万トンのタンカーを同時に建造中（2008 年 9 月完成予定）。総投資額は 1 兆ドン。完成時の労働者は約 1 万人を予定。当面は国内需要に対応するが将来は海外からの受注も視野に。

（クアンナム省）

チュウライ解放区

- * 人口 70 万人の省。工業団地標準価格は 0.35 ドル/m²/年。工業団地建設企業へは無料。現在、58 社が省内工業団地で操業中、内 20 社が外資。
- * ベトナム戦争時代からの立派な空港もあり現在ホーチミンに週 2 便。今後増便予定。
- * チュウライ解放区は特別な優遇策がある。まだ、日系企業の進出は無いが、今後期待はできる。

（ホーチミン市）

日系製造業工場 in アマタ工業団地（マグネットインジェクションなど製造・輸出）

- * 2001 年に投資許可。独資 100%。敷地 1ha。ベトナム人 120 人、日本人 2 人。日本とベトナムに工場があり、ベトナム工場は北米など日本以外の市場向け。輸出加工のため原材料は無関税。生産設備も無関税。
- * 法人税率は 2001 年当時の優遇を受けている。アマタ工業団地は当時では最善の工業団地だったため進出。残業は賃金 1.5 倍、休日は 2 倍。深夜（10 時から朝 6 時）は 30% 増し。

（AMATA 工業団地）

- * 現在タイの AMATA とベトナム国営企業との合弁。104 社中、44 社が日系工場。ワンストップサービスを提供、進出後のケア完備。現在、拡張工事中。
- * また、AMATA エクスプレスシティ（新空港建設予定地近辺に居住新都市を建設）の認可をベトナム政府に申請中。以上

日 程 表

	月 日	訪問地	時間	日 程	食事
1	8月26日 (日)	成田発	10:30-14:30	成田発ホーチミン行き(VN951)	—
		関空発	11:00-14:20	関空発ホーチミン行き(VN941)	—
		ダナン着	16:00-17:10 19:00	ホーチミン国内線カウンターで一行集合 ホーチミン乗り換え、ダナン行き(VN326) ホテルチェックイン 夕食会(メンバー顔合わせ:Pho Hoi Garden) (ホイアン:SWISS-BEL HOTEL GOLDEN SAND RESORT)	機内 ○
2	8月27日 (月)	ダナン市 内	09:00-10:00	計画投資省中部計画投資促進センターブリーフィング	○
			10:30-11:00	港湾施設など視察	—
			11:30-12:15	日系物流会社からのブリーフィング	○
			12:30-13:45	ジェットロホーチミン事務所所長からのブリーフィング (昼食会場にて:40分)	○
			14:00-16:00 17:30-19:15	ダナン市人民委員会委員長表敬、投資局ブリーフィング ベトナム政府主催「東西経済回廊週間」イベントに参加 ファムザークィム副首相、ラオス他政府高官参加予定 開会式・物産展・伝統芸能ショー(ダナン・国際展示センター)	—
19:30-21:30 23:00	「東西回廊週間」開会レセプション(フラマリゾートにて) ホテル着 (ホイアン:SWISS-BEL HOTEL GOLDEN SAND RESORT)	—			
3	8月28日 (火)	ダナン市 内	09:00-11:00	日系企業訪問(釣具製造、輸出)	○
			11:15-12:00	日系企業訪問(貸工場を運営)	○
			12:30-13:45 午後	昼食会(現地日系企業の方との懇談) 「東西回廊週間」へ参加もしくは自由 夕食(自由)	—
				(ホイアン:SWISS-BEL HOTEL GOLDEN SAND RESORT)	—
4	8月29日 (水)	クワン ガイ省	08:00-10:30	移動(貸切バス:3時間)	○
			10:03-11:30	クワンガイ省人民委員会副委員長&ズンクアット経済区局長	○
			12:00-13:00	昼食(クワンガイ省高官を招いて:場所未定)	○
			13:30-	Dung Quat 経済特区内軽工業地区	—
			13:30-14:30	外国人用住宅施設視察	—
			14:30-15:15	原油移送港	—
			15:15-16:30 19:00-	VINAshin 造船ドック ペトロベトナム石油精製プラント(建設中) クワンガイ省人民委員会主催歓迎夕食会 (クワンガイ市:CENTRAL HOTEL 泊)	○
5	8月30日 (木)	クアン ナム省	10:00-11:30	Chu Lai 経済開放区、工場見学	○
			12:30-13:30	昼食(クアンナム省人民委員会委員長を招いて)	○
			13:30-14:30	クワンナム省人民委員会委員長表敬、ブリーフィング	○
			14:30-17:00	移動((貸切バス:2.5時間) 職業訓練学校視察	—
			18:10-19:20 21:00	ダナン発ホーチミン行き(VN327) 夕食 (ホーチミン:RENAISSANCE RIVERSIDE HOTEL SAIGON 泊)	○

6	8月31日 (金)	ホーチミン市内	09:30-11:00 11:15-12:30 午後 18:00 19:00-21:00 23:40-07:25 23:35-06:45	日系企業工場視察(マグネット部品製造・輸出) アマタ工業団地訪問および昼食(工業団地にて) 自由 ホテルチェックアウト 最終日夕食会 (ホーチミン日本商工会幹部との懇談会) ホーチミン発成田行き(VN950) ホーチミン発関空行き(VN940) (機内泊)	○ ○ ○
7	9月1日 (土)		07:25	日本着、解散	

VN : ベトナム航空